



戸塚小学校だより

学校所在地 〒244-0003 横浜市戸塚区戸塚町132

TEL 881-0049・6461

Eメールアドレス y3totuka@edu.city.yokohama.jp

FAX 881-9804

ありがとうの心

校長 大谷 珠美

金次郎門の横にあるしだれ梅のつぼみが少しずつ赤く色づいてきました。「春に近づいているんだな。」と感じますが、まだまだ寒い日が続いています。

オミクロン株の流行で、戸塚小学校でも感染防止のために学校を休む児童が増えてきています。また、のどの痛みやせき、鼻水といった風邪の症状が続いている児童や濃厚接触者と診断された児童、陽性となった児童も出てきています。近隣校では学級閉鎖が出ています。学校では、大声で話さないことや手洗いや消毒の徹底をすることを話し、予防に努めています。同居されている方の中に具合の悪い方がいる場合は、大事をとって児童も学校をお休みして様子を見てください。ご家庭でも引き続き感染予防にご協力をお願いいたします。

さて、みなさんは「ふわふわ言葉、ちくちく言葉」というものを聞いたことがありますか。学校では、人を傷つけるような「ちくちく言葉」や行為をなくすように、いろいろな取り組みをしています。それがいじめにつながる人が多いからです。

逆に、自分が言われてうれしくなるような「ふわふわことば」や行為をみんなで共有しています。例えば、「今日、〇〇さんが私の鉛筆を捨ててくれました。ありがとう。」や「僕が困っていたら、〇〇さんが、『どうしたの?』と言ってくれました。そして一緒に保健室に連れて行ってくれました。」、「〇〇さんが、ドリルを配るのを手伝ってくれました。優しいと思いました。」などです。

これらは何も特別なことではなく、日常よく見る光景です。特別なことでなくても、友達から受けた好意に「ありがとう。」という、感謝の思いを感じる人が多くいます。そして、自分と同じように相手にも優しくしようと思う人は多いはずです。

何かしてもらったときには、「ありがとう。」という気持ちが自然と湧くのは当たり前のことですが、逆に自分にとって厳しいことを言ってくれた友達にも「ありがとう。」と伝えたいと考えている児童がいることを知り、先日私はびっくりしました。それは、校長室に来ていた児童と話をしていた時のことです。人権週間の時に「私はすぐに自分が思ったことを口に出しちゃうから相手を嫌な気持ちにさせている。」と言った児童がいました。「自分で気づいたの?」と聞いたら、こう続けました。「〇〇さんが私に、『相手がどう思うか考えて言いなよ。言い方に気をつけた方がいいよ。』って言った。その時は、何言ってんの!と思ったけど、考えたら、その通りかもしれないって思って、言ってもらってよかったなあと、感謝している。」と言うのです。大人でも、自分が注意されたら嫌な思いをして少し距離を置こうと考える人がいる中で、敢えて自分に厳しいことを言ってくれる人を受け入れて感謝の気持ちをもつことができる、この児童に感心しました。どんな出来事にも何かしらの前向きな意味を見出して「ありがとう。」という気持ちで受け止められるようにしていきたいと、児童から教えられた出来事でした。